

2008 年度

科目名 比較文学 B	対象学科・学年 文学部全学科 2 回生 人間人社 2 回生	担当者 林 進
授業テーマ 日本と西欧の近・現代文学の比較		
授業の概要と目標 三島由紀夫、森鷗外、トーマス・マン、川端康成、カフカなどの作家の文学作品をテーマ別に比較しながら、あるいは文学と他の芸術・学問分野とを比較検討しながら、現代社会における文学の意味と機能を考える。映画ビデオ等も適宜活用しながら解説する。		
評価方法 レポート提出。出席重視。		
テキスト 『三島由紀夫とトーマス・マン』	著者 林 進	出版社 鳥影社
参考書 授業の中で指示	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. エロティシズム（1）絶対的タブーの侵犯——三島由紀夫『春の雪』（1） 2. エロティシズム（2）愛の死——三島由紀夫『春の雪』（2） 3. 病気と文学（1）——マン『魔の山』と堀辰雄『風立ちぬ』（1） 4. 病気と文学（2）——マン『魔の山』と堀辰雄『風立ちぬ』（2） 5. 近代日本とドイツ（1）国家と家と個人——森鷗外『舞姫』（1） 6. 近代日本とドイツ（2）エリート留学生の挫折——森鷗外『舞姫』（2） 7. 武士道（1）——三島由紀夫『剣』（1） 8. 武士道（2）——三島由紀夫『剣』（2） 9. テロリズム（1）孤独の侵犯——カフカ『審判』と安部公房『友達』 10. テロリズム（2）暗殺——三島由紀夫『奔馬』『鹿鳴館』（1） 11. テロリズム（3）暗殺と切腹——三島由紀夫『奔馬』『鹿鳴館』（2） 12. 変身とシュールレアリスム——カフカ『変身』と安部公房『赤い藪』とダリ『記憶の固執』 13. 発狂と自刃——ニーチェと三島由紀夫 14. 二つの死——川端康成と三島由紀夫 15. レポート提出		